

[1] デジタル・ストアズ・マネジメント・システム/DSMS（よく「ディズマス」と発音される）訓練課程へようこそ。この訓練はこのランプで行うので、私がバッテリーとシステムをいくつか立ち上げておこう。

[2]

[3] DSMS はパイロットとペイロード間の主要なインターフェースだ。A-10C では、ウェポン・プロファイルは武器の種類を選択したり設定したりするために使われるもので、武器そのものを選んでいない。武器に割り当てられるプロファイルを選んでいただけだ。例えば、幅広い戦術シナリオに備えて、一つの武器に複数のプロファイルを作成することができる。DSMS では 20 近いプロファイルを作成しカスタマイズすることができ、それぞれに固有の名前を付けて保存できる。プロファイルは、MFC D の DSMS コントロール、UFC の SEL ロッカー、HUD が SOI 時の HOTAS コントロールでサイクルさせることができる。選択されたプロファイルは「アクティブ・プロファイル」と呼ばれ、HUD の左下のコーナーに表示される。

[4] DSMS には次のようなページがある：ステータス・ページ、インベントリー・セレクト・ページ、セレクトティブ・ジェティソン・ページ、ミサイル・コントロール・ページだ。これらのページにはサブページが付随するものがある。

[5] DTS アップロードページが起動した。左 MFC D の OSB-18 を押して DSMS データをアップロードしろ。

[6]

[7] オーケー。OSB-14 を押して DSMS ページを選択しよう。

[8] 現在見えているのはステータスページで、これが DSMS の基本表示となる。このページでは以下の情報をざっと見ることが出来る。

- 11 のステーションにあるそれぞれの武器のインベントリーとステータス
- アクティブ・プロファイルのリリースセッティング
- 機銃のステータスと残弾数
- EO パワータイマー（マーヴェリックがアクティブのとき）

ディスプレイ上側の OSB-1、2 と 4、5 は他のページにアクセスするの使う。

しばらくディスプレイを眺めて、この表示の仕方に慣れてくれ。

次に進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[9] MASTER ARM をトレーニングモードにしよう。スイッチを一回右クリックして TRAIN にしろ。

[10] 青の表示は DSMS が TRAINING モードであることを意味している。白の表示はマスターアームが SAFE、緑はマスターアームが ARMED であるという意味だ。

見て分かるように、ディスプレイにステーション 1 から 11 が左下から時計回りに並んでいる。それぞれのステーションボックスはプロファイルネーム（通常は 搭載された武器に指定されたものと同じ）と残弾数を表示している。武器によっては、ランチャーの設定やウェポン・センサー・ステータスなどの追加情報を含むこともある。

ディスプレイの中央下には、キャノン・データ・ブロックが弾丸タイプと残弾数を表示している。

ディスプレイ中央には現在の HUD モードと、選択されたアクティブプロファイルの詳細が表示される。

[11] 機体左端のステーション 1 から順に、ALQ-131 ECM ポッド、7 発の訓練弾が装填された LAU-68 2.75 インチ ロケットポッド、3 発の BDU-33 訓練弾が装着された BRU-42 ラック、そして GBU-38 が現在搭載されている。続いて右端へは、GBU-38 がもう一つ、BRU-42 ラックがもう一つ、AGM-65K、AN/AAQ-28 LITENING ポッド、そして 2 発の AIM-9M が装着された LAU-105 ランチャーとなっている。さらに機銃用に 1150 発の訓練弾も積んでいる。

まずは DTS にロードされたデフォルトのプロファイルをサイクルしてみよう。その前に HUD を GUNS モードから CCIP モードか CCRP モードにする必要がある。HOTAS MASTER MODE ボタンか M を押せ。

[12] これで UFC の SEL ロッカーキーを使ってプロファイルをサイクルさせることができる。他にも、現在 HUD が SOI なので、HOTAS DMS LEFT/RIGHT コマンドか DELET と PAGE-DOWN を押してもできる。

[13] ロードされているすべてのプロファイルのリストを見たいので、OSB-1 を押してプロファイル・メイン・ページに入ろう。

[14] プロファイル・メイン・ページはロードされたすべてのプロファイルを表示している。OSB-19 を押して矢印で WTU（ロケット）のプロファイルを選択しろ。

[15] これで現在、OSB-6 と 7 を使ってプロファイルをリストの上下に移動させたり、OSB-9 を使ってプロファイルを無効にしたり、OSB-17 を使ってプロファイルをアクティベートすることができる。しかし、いまはプロファイルのセッティングを見るために OSB-3 を押してプロファイル・コントロール・ページに入ろう。

[16] プロファイル・コントロール・ページは現在のプロファイルにセットされている武器の設定を表示している。ディスプレイの左右からそのセッティングを変更することが出来る。ディスプレイ中央のプロファイル・テーブルも別のページから変えることが出来る。OSB-19 と 20 は（アクティブにすることなく）プロファイルをサイクルさせる。

これらのセッティングをいくつか変えてみよう。

ディスプレイの右側を見てくれ。現在のリリース数が SGL（single）になっているのが分かるだろう。これはリリースボタンを押すたびに 1 発ずつロケットが発射されるということだ。OSB-6 を 2 回押して、これを RIP SGL（ripple single）に変更しよう。

設定できたら SPACE BAR を押してくれ。

[17] これでウェポン・リリース・ボタンが押されている間、何発のロケットが連続発射されるか設定することができる。例えば数量を 3 にするには、UFC で「3」をおして、それから OSB-8 を押せば、数値がプロファイルに入力される。

設定できたら SPACE BAR を押してくれ。

[18] このページの追加選択としては、OSB-10 はデフォルト HUD モードに設定し、OSB-18 は現在のプロファイル設定を新しいプロファイルにペーストすることが出来る。

OSB-16 を押して、ディスプレイのデータ・テーブルのアンダーラインされた設定にアクセスするための、プロファイル・セッティング・サブページに入ろう。

[19] これが追加プロファイル設定だ。ディスプレイ左側にあるのは、エスケープ・マニューバ、飛行時間と最低高度だ。ディスプレイ右側では、水平オフセット、垂直オフセット、武器射出速度、ボム・ラック・ディレイが設定できる。

OSB-3 を押してプロファイルの変更を保存しろ。

[20] プロファイル・メインページに戻ってきた。WTU でやったように、他のプロファイルも選択・編集することができる。OSB-1 を押して DSMS ステータスページに戻ろう。

[21] プロファイルは、マニュアルモードで OSB を使ってステータス・ページから直接アクセスすることもできる。同一の武器が複数搭載されていて、ランチャーやプロファイル・セッティングも同じなら、複数のステーションを同時に選択できる。OSB-7 と OSB-19 を押して、BRU ラックが搭載されているステーション 4 と 8 を選択しろ。

[22]

[23] ディスプレイ中央の追加プロファイル情報を見てくれ。HUDのプロファイル名が「M/」から始まっているが、これはマニュアルモードであることを示している。マニュアルモードでのプロファイルの扱いは、デフォルトプロファイルと同じだが、独立しているためDMSに保存されるまでサイクルすることはできない。

[24] マニュアルモード中に PROD OSB-1 を押すとプロファイル・コントロール・ページが直接開く。爆弾投下に関するプロファイル設定を見てみよう。

[25] 爆弾プロファイルでは OSB-7 で信管設定が追加選択できる。ここでは N/T (nose/tail) 、NOSE、TAIL の中からサイクルすることができる。先ほどロケットでやったように OSB-6 を 2 回押して投下設定を RIP SGL に変更しろ。

次に進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[26] 爆弾リリースを連続設定にすると、数量と着弾間隔を feet 単位で調整できる。着弾間隔を 150feet に変更しよう。UFC で HUD スクラッチパッドに「150」とタイプし、OSB-9 をおして DSMS に入力しよう。

設定できたら SPACE BAR を押してくれ。

[27] OSB-7 で変更を保存しろ。

[28] OSB-1 で DSMS ステータス・ページに戻ろう。

[29] 次は、ミサイル・コントロール・ページを見てみよう。ステータス・ページから OSB-2 を押してアクセスだ。

[30] ミサイル・コントロール・ページでは AGM/TGM-65 ミサイルと AIM-9 ミサイルを設定するのに使う。まずはマーヴェリックミサイルから話そう。

OSB-4 はマーヴェリックのシーカー・ヘッドを有効・無効化する。シーカー・ヘッドは有効化されてから立ち上がるまで 3 分かかるので、目標空域に入る前に先立ってやっておくべきだろう。一度有効化されると、EO タイマーがディスプレイの右下のコーナーに現れる。ボタンを押してみてもよいが、TRAINING モードなので DSMS は実際にはシーカーを立ち上げていない。

[31]

[32] OSB-5はEOパワーをMAN (manual)、LOC (location)、TIMEモードの中から選択する。MANモードでは、パイロットがEOパワーOSBを押した時点でシーカーが起動する。LOCモードでは、特定のウェイポイントから設定された距離と方位に到達した時点でシーカーが起動する。TIMEモードでは特定の時刻になった時点でシーカーが起動する。

OSB-5でLOCオートマティック・パワー・ファンクションに設定しろ。

設定できたらSPACE BARを押してくれ。

[33] LOCオートマティック・パワー・ファンクションの設定にはいくつかステップがある。まず、OSB-9をおしてウェイポイント・ロータリーを選択しろ。OSBのロータリーの上下矢印がハイライトされたのが分かるだろう。

[34] ではUFCのFUNCボタンを押して(HUDのUFCスクラッチパッドの隣に「F」が表示される)、SELロッカーUPを押して次のウェイポイントまでサイクルしろ。ミサイル・コントロール・ページのウェイポイント番号が変わるの分かるだろう。

設定できたらSPACE BARを押してくれ。

[35] 今度は方位と距離を入力する。UFCで方位の数値(例えば、065)をタイプし、OSB-7を押せ。次に距離の数値(例えば、20)をタイプし、OSB-8を押せ。

設定できたらSPACE BARを押してくれ。

[36] これで指定されたウェイポイントから20nm、方位065でアプローチしたとき自動的にEOパワーがマーヴェリックに適用される。有効化される地点の範囲は直径10nm、もしくは設定された距離の25%かそれ以上だ。

TIMEモードに設定すると、LOCモードと同じように、OSB-10のTIME EO POWER ファンクションで時刻の数値を入力できる。

OSB-6のMAV ADJ (Maverick Boresight Adjust) ファンクションはミサイル・シーカーのボアサイト・ポジションを設定する。

ディスプレイの左側のOSB-9はAIM-9ミサイルをOFF、COOL、SELモードに設定する。SELに設定されると、HUDがAIR TO AIRモードに変わる。

再びOSB-1を押してDSMSステータス・ページに戻ろう。

[37]

[38] 次は、ジェティソン・セレクト・ページを見ていこう。OSB-4 を押せ。

[39] ジェティソン・セレクト・ページはステータスページに似ているが、ここでは投棄する装備を選択する。OSB-4 は信管の種類を設定する。OSB-5 は次のジェティソン・モードを選択する：

- STR (store) 。STR モードでは一つかそれ以上のステーションを選択し、装備を投棄できる。装備は二つ一組でリリースされる。

- RACK (station rack) 。RACK モードでは、ラックが割り当てられた一つか複数のステーションを選択し、そこに取
り付けられたすべての装備を投棄する。ラックが割り 当てられたステーションを複数選択した場合、それらは二つ一組
でリリースされる。ウェポンリリースボタンを押すたびに、ラックあるいは一組のラックが投棄 される。

- MSL (missile) 。このモードでは、ウェポンリリースボタンを押すたびに LAU-88 TER に割り当てられた、いずれか
のマーヴェリックを無誘導／不発の状態が発射する。LAU-117 では MSL の投棄はできない。LAU-88 とマーヴェ リッ
クが装着されていないステーションを選択すると、ステーション番号が反転して表示されるだけだ。

次に進んでよければ、OSB-1 を押してステータス・ページに戻ろう。

[40] このレッスンの最後として、インベントリー・セレクト・ページを見よう。OSB-5 を押してくれ。

[41] インベントリー・ページの主な機能は、特定のステーションに特定の武器を割り当てることだ。これは武器の種類
がプロファイルで指定されたものと一致しない というエラーを修正することを可能にし、プロファイル・セッティン
グ・ページでは扱えない追加の武器設定を可能にする。さらにトレーニング・モードでは仮 想ペイロードを作成するこ
ともできる。

DTS カートリッジには機体に装備されたすべての武器のデフォルト・プロファイルが入っているので、エラーとなる機
能不全が発生しないかぎり、通常のオペ レーションではこのページにアクセスする必要はない。だが今回は一例とし
て、一つのステーションをセットアップしてみよう。

次に進んでよければ SPACE BAR を押してくれ。

[42] ステーション 3 のマーヴェリックをリセットしてみよう。まず、OSB-18 を押してステーションを選択しろ。

[43] OSB-18 をもう一度押して、武器のクラスとして MISSILE を選択しろ。

[44] 次は、搭載されている特定のミサイルを選択する。ミサイルの種類を OSB-4 で、ミサイルの数量を OSB-5 で、ランチャーの設定を OSB-8 で選択できるようになっている。

OSB-18 をもう一度押して、AGM-65D を選択しろ。

[45] OSB-1 を押してステータス・ページに戻ろう。

[46] これでデジタル・ストアズ・マネジメント・システムの訓練課程を終わる。